

DNC

Daikyo
Nishikawa
Corporation

Business Report

第14期 株主通信

2020年4月1日から2021年3月31日まで

― トップインタビュー

人・社会・地球をより
大切にする企業へ。

- ごあいさつ
- 当期の事業環境と業績について
- 米国新工場の進捗について
- 女性活躍の取り組みについて
- SDGsの取り組みについて
- 第15期(2022年3月期)の見通し
- 配当について

― 連結財務ハイライト

― SDGsへの取り組み

― DNCネットワーク

- グローバル事業拠点
- [シリーズ企画]世界へ挑む

― 製品紹介

- 冷却パイプ

― トピックス

- 自動車技術展
「人とくるまのテクノロジー展2021
オンライン」出展

会社概要／会社役員／株主メモ／株式の状況／
株式分布状況／大株主／1株当たり配当金・配当性向／
工場見学について／表紙について

DN ダイキョーニシカワ SDGs宣言

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

当社はSDGsに賛同し、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

企業 理念

社員の幸福と繁栄を願い、人・社会・地球を大切にする企業を実現します。
感動創造企業を目指し、技術開発と革新的なものづくりにチャレンジします。
企業倫理の徹底を図り、地域から信頼される企業を築きます。

当社では企業理念のもとSDGsへ取り組んでいくことを宣言いたします。



業績に関する
Keyword

●低炭素社会に向けた事業環境の変化

●グローバル戦略拠点の整備

●SDGs達成に向けた取り組みの推進

ダイキョーニシカワ株式会社

トップインタビュー Top Interview

人・社会・地球をより大切にする企業へ。

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社における第14期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)の
連結業績につきまして、ここにご報告申し上げます。

代表取締役社長 内田 成明

2021年6月



第14期(2021年3月期)の事業環境と業績についてお聞かせください。

第14期における自動車業界の事業環境は、低炭素社会に向けた環境規制対応による電気自動車や自動運転など次世代に向けた自動車開発スピードが加速する一方、全世界で長期化している新型コロナウイルス感染症の影響により、自動車メーカー各社においても販売減や生産停止等の経済活動の停滞を招き、当社の事業活動にも大きな影響を及ぼすこととなりました。

当期における当社の具体的な取り組みについては、研究開発面においては、低炭素社会への貢献を意識した製品の軽量化や環境にやさしい新素材の研究開発に加え、電気自動車に対応する製品の研究開発に注力しております。

経営基盤の面においては、働きやすい職場

づくりやライフワークバランスの実現に向けたテレワーク制度の導入、デジタル技術を活用した業務の効率化を実施し、また環境対応、地域貢献を目指したSDGs宣言に向けて取り組んでまいりました。

当期の連結業績は、新型コロナウイルス感染症の影響による第1四半期連結会計期間の減産により、売上高は150,234百万円(前年比17.6%減)となりました。営業利益は、経費削減とメキシコの増収効果はありましたが、減収影響と国内関係会社で発生した火災の影響等により、4,456百万円(前年比50.5%減)、経常利益は5,386百万円(前年比43.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は2,536百万円(前年比48.3%減)となりました。

米国新工場の進捗についてお教えください。

米国新工場の進捗につきましては、2021年中の生産開始に向け、お客様の要求に基づき準備を着実に進めているところです。

米国新工場では、各OEMメーカーの製品を混流し、変種変量生産を可能としております。徹底したロス削減と最短の生産工程を追求し、国内各拠点で培った生産プロセスを織

り込むことで生産性の向上を図っております。また、塗装には水性塗料を使用するなど、環境にも配慮した生産を行います。

安定した収益を確保し、継続的に成長していけるグローバル戦略拠点として、確かな品質と、競合力のあるものづくりの実現に向け、米国新工場は大きな一歩を踏み出します。

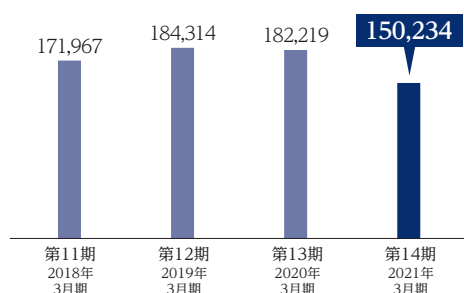
女性活躍の取り組みについてお聞かせください。

当社は、女性活躍推進法に基づく事業主行動計画の計画期間満了に伴い、2021年4月1日からの新たな計画を公表いたしました。

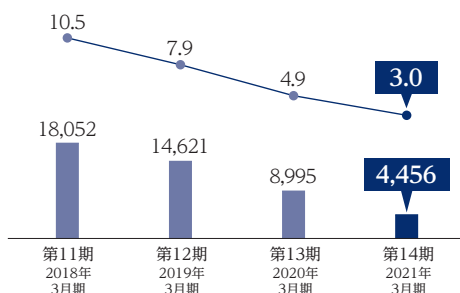
当社の抱える課題の一つとして、女性のキャリアアップに対する意識改革と女性活躍の重要性の社内理解及び浸透不足が挙げられます。この課題に挑むべく、当社では女性活躍プロジェクトを立ち上げ、①女性社員や管理職向けのセミナーの実施及び意識調査②ライフイベントに応じた制度拡充の検討③キャリア形成のためのサポートの充実を図ってまいりました。直近の女性登用の例としては、2020年度には2名の女性管理職が誕生しました。また、2021年6月18日に開催された株主総会では、女性の社外取締役と社外監査役が選任されました。

連結財務ハイライト

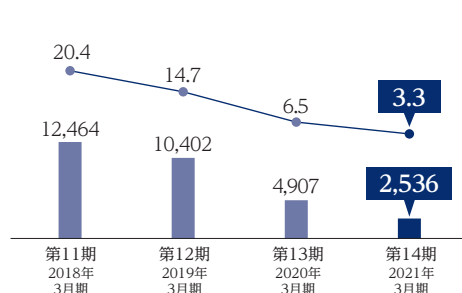
■ 売上高 (百万円)



■ 営業利益 (百万円) ◆ 売上高営業利益率 (%)



■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円) ◆ 自己資本当期純利益率(ROE) (%)



トップインタビュー Top Interview

今後も多様な人材がその人格を尊重され、公平・公正に評価される職場づくりを推進するため、女性活躍支援に取り組んでまいります。

SDGsの取り組みについて お聞かせください。

A 当社でも、従来からSDGsに関する取り組みは行っていましたが、当社の姿勢を公に示すとともに、誰一人として取り残すことなくグループ全体で共通の認識を持つて具体的な行動に繋げ、持続可能な社会の実現を目指した活動をより強力に推進していくために、このたび「ダイキョーニシカワ SDGs宣言」を策定いたしました。

当社の事業活動を通じ、関わりの深い12のゴールに向けた活動に、引き続き取り組んでまいります。

第15期(2022年3月期)の 見通しについてお教えてください。

A 第15期においては、現在進めております米国新工場の操業準備が本格化するため、その費用が増加する見込みです。

一方、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大が始まり1年が経過しましたが、依然として感染の収束の目途は立っていない状況です。また、当社を取り巻く自動車市場におきましても、新型コロナウイルス感染症による人々の動きが変化し、移動手段として自動車が見直され需要が高まる動きは見られたものの、市場の回復水準には懸念があります。併せて、半導体不足の影響で日系メーカー、米国、欧州の海外メーカーも生産調整を強いられており、生産台数が下がる懸念があり先行きの見通しは不透明です。したがって、主要顧客の生産台数が見通せず、業績予想の適正かつ合理的な算定は困難と判断し、2021年5月

13日に行いました決算発表では第15期の業績は未定といたしました。

最新の情報につきましては、当社のホームページ等で公開しておりますので、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

配当についてお教えてください。

A 第14期の業績は減収減益ではありませんが、当社は安定的・継続的な配当を行う方針としており、1株当たり30円の配当を実施いたしました。

今後も企業価値の向上に努めてまいりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



詳細は当社のホームページに掲載されている「IR情報」をご覧ください。

<http://www.daikyonishikawa.co.jp/jp/ir/index.html>

こちらの
QRコードからもアクセス!



QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

SDGsへの取り組み

～サステナブルな社会を目指して～

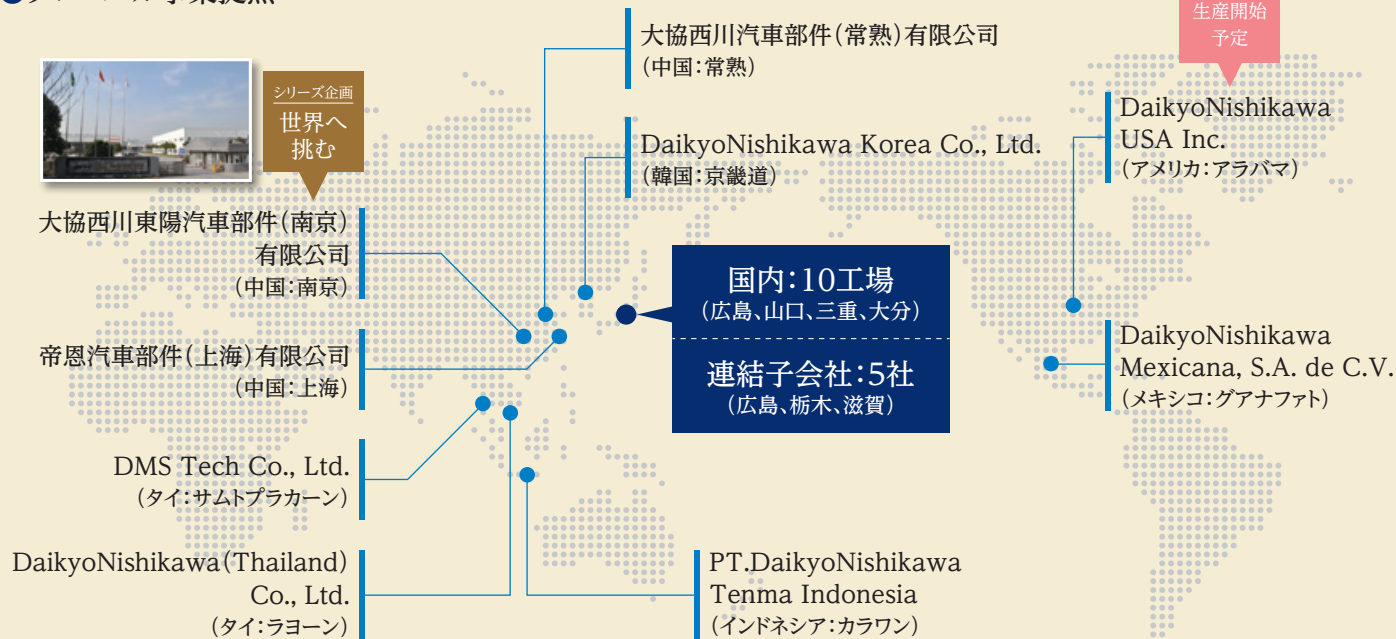


SDGs(エスディージーズ Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」ことを誓っています。



DNC ネットワーク DNC Network

●グローバル事業拠点



※上記の他に、連結子会社2社、持分法適用関連会社2社があります。

シリーズ企画 世界へ 挑む

【中国:南京】大協西川東陽汽車部件(南京)有限公司

DaikyoNishikawa TongYang Auto Parts (Nanjing) Co., Ltd. (DNTY)

仲間と切磋琢磨し、管理者としてさらなるレベルアップを図る。

中国四大古都の一つに数えられる南京市は、中国東部の歴史ある都市です。世界遺産である明孝陵をはじめ、黒い龍が現れたという伝説が残る玄武湖、孔子を祭った夫子廟といった観光スポットが有名で、中でも夫子廟は夜景が美しく、長江の支流である秦淮河の遊覧船ツアーはとても人気があります。

南京市は産業も盛んで、完成車メーカーや自動車部品のサプライヤーの工場も多く建設されています。DNTYでは主にバンパーやインストルメントパネルの製造を行っており、主要取引先は長安マツダ汽车有限公司ですが、一部ローカルの電気自動車メーカーへも部品を納入しています。

樹脂製品の成形には金型が不可欠ですが、金型はメンテナンスが重要で、製品の品質を大きく左右します。現在、私は成形課の責任者として、金型や設備のメンテナンスに注力しています。入社以来、技術者として金型や射出成形機、取出機といった生産に関わる各種機器の知識を深めるとともに、経験を積み重ね、様々なスキルを身に付けてきました。今では誰よりも成形に詳しくなったと自負しております。不具合が発生した際はいち早く対応し、異常の分析を行って改善策を講じています。



製造部 成形課 副襄理 (2009年入社)
謝 平



(写真左から) 成形課副襄理 謝さん、塗装課襄理 楊さん、製造経理 林さん、営業課襄理 董さん、技術営業本部総監 姜さん、インパネ課襄理 馬さん、開発課襄理 戴さん

DNTYでは日本の企業で徹底されている5Sも取り入れており、生産性の向上のみならず、製品の品質やコスト面でも目に見えて効果があらわれています。常に合理化・改善に取り組み、ロス低減に努めています。

DNTYは社員の幸福と繁栄を謳っている会社で、社員の満足度も高く、私たちは誇りを持って働いています。社員同士も気心の知れた仲で、ラフティングやバーベキューといった会社の行事を通じてさらに結束力も強くなっていますが、決して馴れ合いの関係ではなく、お互いを理解し、尊重し合い、時には良きライバルとして、切磋琢磨して業務に精励しています。

これからも積極的に外の情報も取り入れて知見を広げ、より成果を引き出せる管理者を目指してレベルアップを図り、後進育成に努めてまいります。

製品紹介 Product Introduction

あくなき探求心で技術革新に成功したパワートレイン部品 冷却パイプ

一口に「パイプ」と言っても、自動車に使われるパイプには色々な種類があります。日本の市場ではコスト面での利がある金属製パイプが主流ですが、海外では複雑な形状にも対応できる樹脂製パイプが台頭し始めています。

樹脂製パイプは中空の半割り成形品どうしを溶着して作られるパイプが大半ですが、溶着部の外観や強度に課題がありました。そこで、当社では溶着を必要としないガスインジェクション成形に着目し、研究を重ねてきました。完全に固まる前の成形品に窒素ガスを注入して内部に空洞を作るガスインジェクション成形は、長さを必要とするパイプや形状が複雑なパイプの成形には不向きとされていましたが、技術革新を重ね、制約の厳しいレイアウトにも対応できるパイプが成形できるようになりました。また、内面を滑らかにして流量を確保する技術なども確立しています。窒素ガスで押し出した樹脂材料は再利用しており、循環型社会への貢献にも繋がっています。

ガソリン車のエンジンや電気自動車のバッテリーの熱を取り除くために使われる冷却パイプは、当社の注力中の製品です。樹脂の特長を活かした樹脂製冷却パイプで、お客様のニーズにお応えしてまいります。



開発担当者が語る

ココに
注目!



R&D本部
吉木 敦美

樹脂製冷却パイプの開発にあたり、課題の一つとされていたのは、冷却水に混ざるLLC（ロング・ライフ・クーラント）という不凍液に対する樹脂の脆弱性でした。しかし、当社では劣化メカニズムを解明し、樹脂材料の見直しを行うことで、この課題をクリアしました。

2つの経路のパイプを一体化したり、枝分かれなどの複雑な形状にも樹脂なら対応できますし、部品点数を減らすことも可能です。今後はさらに技術に磨きをかけ、他のパイプにも応用して、樹脂製パイプの幅を広げていきたいと考えています。

冷却パイプとは

ガソリン車のエンジンや電気自動車のバッテリーは、走行中非常に高温になるため、温度の上がり過ぎによるトラブルを防ぎ、正常に動かすための冷却が必要です。そこで、冷却水を通す流路を設け、各部品の熱を取り去っています。この冷却水の流路の役割を担っているのが冷却パイプです。

トピックス

自動車技術展「人とくるまのテクノロジー展2021オンライン」出展

2021年5月26日～7月30日

当社は、「こんなとこまでプラスチック?!」をキャッチフレーズに、5月26日から開催されている自動車技術展「人とくるまのテクノロジー展2021 オンライン」に出展し、環境に配慮した製品や、最新の樹脂化技術を紹介しております。

● 出展品の一例



独自技術で先進的なデザインを実現

光透過表皮操作パネル

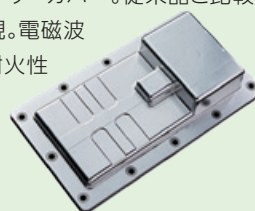
従来の技術では実現できなかった、柔らかい革調仕上げ部位への透過表示機能、スイッチ機能の実装を可能に。表示するコンテンツを寸分違わず配置する独自工法を開発(特許出願中)。



電磁波シールド性と耐火性を合わせ持つ

樹脂製バッテリーカバー

SMC(熱硬化性樹脂)プレス工法を用いた、アルミ箔とSMCの同時成形による多機能で軽量のバッテリーカバー。従来品と比較して低比重を実現。電磁波シールド性及び耐火性も満足。



環境にやさしいセルロースナノファイバーを使用

CNF製バックドア

セルロースナノファイバーの強くて軽い(鋼鉄の1/5の軽さで5倍の強度)特長を活かし、従来材料比マイナス10～15%の軽量化に成功。再生時の物性低下が少なく、マテリアルリサイクルも可能。



ダイキョーニシカワ
ブース

<https://aee.online.jsae.or.jp/ja/exhibition/detail.html?id=67>

※初回アクセスでは来場登録ページが開きます。お手数ですがご登録をお願いいたします。

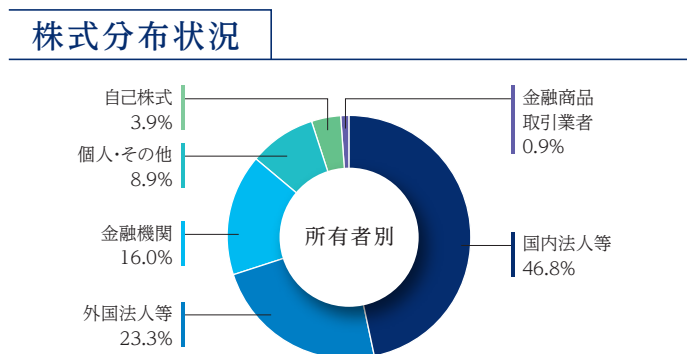


会社概要		(2021年3月31日現在)
社 名	ダイキョーニシカワ株式会社	
本 社	広島県東広島市寺家産業団地5番1号	
設 立	2007年4月1日	
資 本 金	54億2,665万3,900円	
従 業 員 数	5,414名(連結)	

会社役員		(2021年6月18日現在)
代 表 取 締 役 社 長	内 田 成 明	
代 表 取 締 役 副 社 長	野 口 悟	
取 締 役 副 社 長 執 行 役 員	桧 山 俊 夫	
取 締 役 専 務 執 行 役 員	錦 村 元 治	
取 締 役 専 務 執 行 役 員	和 木 深 水	
社 外 取 締 役	出 原 正 博	
社 外 取 締 役	佐 々 木 茂 喜	
社 外 取 締 役	向 井 武 司	
社 外 取 締 役	村 田 治 子	
常 勤 監 査 役	繁 元 則 彦	
社 外 監 査 役	清 宗 一 男	
社 外 監 査 役	藤 本 圭 子	

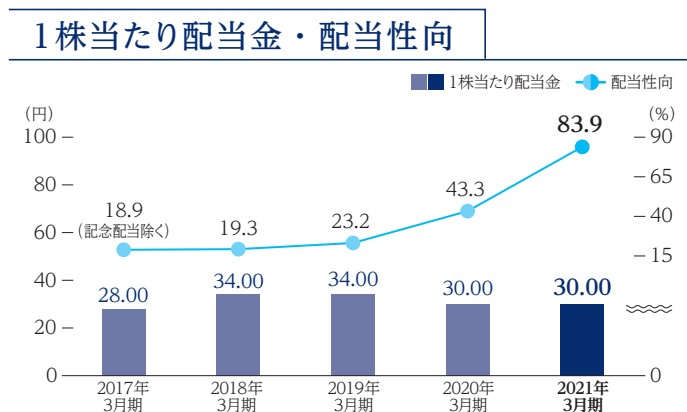
株主メモ	
事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会	毎事業年度終了後3ヵ月以内
剰 余 金 の 配 当 の 基 準 日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同 事 務 取 扱 場 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 0120-094-777(平日9:00 ~ 17:00)
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
公 告 掲 載 方 法	電子公告 http://www.daikyoniishikawa.co.jp/ 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株式の状況		(2021年3月31日現在)
発 行 可 能 株 式 総 数	236,704,000株	
発 行 済 株 式 の 総 数	73,896,400株	
単 元 株 式	100株	
株 主 数	12,119名	



大株主	
株主名	所有株式数(株) 持株比率(%)
西川ゴム工業株式会社	11,835,200 16.7
株式会社イノアックコーポレーション	3,924,600 5.5
三菱商事プラスチック株式会社	3,924,600 5.5
住友商事株式会社	3,573,680 5.0
株式会社広島銀行	3,541,800 5.0
マツダ株式会社	3,541,800 5.0
三井物産株式会社	3,222,720 4.5
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	3,151,200 4.4
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,489,600 3.5
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,486,300 3.5

(注) 当社は、自己株式2,914,981株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。また、持株比率は発行済株式の総数から自己株式を控除して計算しております。



工場見学について

ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションをより活性化させ、また当社のものづくりにかける情熱を感じ取っていただきたいの思いから、念願であった工場見学ルートの整備を現在行っております。

安全に工場見学をしていただくことはもちろん、記憶に残る体験となるよう、大人も子供も楽しめる工夫を随所に凝らし、ものづくりの魅力や技術力を発信してまいります。鋭意準備中ですので、完成を楽しみにお待ちください。

表紙について

ダイキョーニシカワ SDGs宣言

当社はSDGsに賛同し、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献すべく、企業理念のもとSDGsに取り組んでいくことを宣言いたしました。まずは、12のゴールに向けた活動を推進してまいります。



ダイキョーニシカワ株式会社
TEL: 082-493-5610

